

委員会審議の内容

政策総務常任委員会

鴻巣市職員の定数に関する条例の一部を改正する条例

〔可決〕

現在は公益法人ということで、施設管理公社、シルバー人材センター、社会福祉協議会、商工会があります。公益的となると、どういう団体が該当するのか、現在は想定していませんが、今後は十分検討していきます。

鴻巣市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

〔可決〕

市が主催するイベントに、同じ職員が参加するにしても、事務局として責任ある立場で参加するものにつ



税のコンビニ収納の導入を

いては職務ですが、その他、地域のイベントに自主的に参加する場合がありますが、そのような場合はボランティアということで徹底するものです。

平成20年度一般会計補正予算（第2号）

〔可決〕

税のコンビニ収納は、システム改修費が相当かかることと、手数料の問題があります。現在使用しているホストコンピュータ更新時期等を鑑み、コンビニ収納を考えていきます。

義務教育債の借替えて平成19、20年の3年間に限り、借替えを認めるものです。メリットは、後年度の負担が減少すること、繰上げ償還に伴う補償金が免除になります。

平成19年度鴻巣市一般会計決算認定について

〔認定〕

市長交際費について、議会的一般質問、市民のみなさんの声、社会情勢の変化などもあり、交際費の支出基準に沿って、より適正な支出を心がけていることから支出は減少傾向にあります。

文教福祉常任委員会

鴻巣市子ども教育ゆめ基金条例

〔可決〕

基金の活用については、中学生海外派遣事業を行う際、航空運賃が燃料代の高騰などにより急な費用負担が生じた場合の補填や、海外からのホームステイを受け入れた場合、市の費用負担のほか、事業をより充実させるために有効に活用したいと考えています。

平成20年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

〔可決〕

保健衛生普及事業としてがん検診委託料4100万円の補正について、肺がん、胃がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、前立腺がんの検査を実施し、申し込み者はすべて受診できま



安心・安全を心がけ工夫をこらす学校給食

すが、乳がんと子宮がんは2年に一度の検診となります。

平成19年度鴻巣市一般会計決算認定について

〔認定〕

学校給食の賄い材料について、昨年12月くらいから小麦粉の価格が上がり始めましたが、給食の食材費への影響は比較的少なく、予定の範囲内で事業は行われました。今年になつてからはいろいろなものの価格が上がっており、値段の安い魚にするなど食材を変えたり、ハンバーグなどは少し小さくするなどの工夫をしながら対応しています。また、安心・安全のため、現在食材は中国産を使わないで、主に国内産を使用していますが、国内産の価格は上昇しており、現在の給食費では今後は厳しくなると考えます。

平成19年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計決算認定について

〔認定〕

3億962万円の法定外繰入金があり、国保会計の健全な運営という観点では法定外の繰り入れはないのが望ましいが、医療費の削減による歳出の抑制ができなければ、税率の改正を迫られることになるので、現状では加入者の負担を考慮するとやむを得ないものと考えます。

まちづくり常任委員会

平成20年度鴻巣市一般会計補正予算
(第2号) 「可決」

鴻巣駅東口E地区再開発事業を実施する効果を専門機関が分析します。その結果を元に「公共事業評価監視委員会」が意見書を出します。300万円の予算が計上されました。

平成19年度鴻巣市一般会計決算認定について 「認定」

市民プール内の売店の使用料30万円が支払われていない事への取組が論議されました。本人へ納付のお願いをしてきましたが納付されず、今は所在確認が取れません。

市街地開発基金積立金は4億円取り崩しています。平成19年度末の残



石綿管の早急な布設替えを

高は3億9998万7174円です。鴻巣駅東口再開発事業の保留床取得資金貸付金1億8000万円について、貸借の代表は貸主の代表者は副市長、借主はエルミここのす社長原口和久です。

平成19年度鴻巣市水道事業決算認定について 「認定」

石綿セメント管の布設替えは、7220メートルしました。残存延長は4万9981メートルです。毎年6000メートルくらいの工事をして、平成27年度未完了の予定です。

平成19年度鴻巣市下水道事業決算認定について 「認定」

借換債で繰上償還をしました。銀行から借りると2パーセントくらいで借りられます。今後も借換債の要望を働きかけていきます。

公共下水道は、鴻巣は熊谷から桶川までを含む荒川左岸流域で処理しています。12万人の人口に対して処理区域内人口は9万人で75・1パーセントの普及率となっています。水洗便所設置済人口は8万人で、水洗化率は88・5パーセントとなっています。会計方式は昭和48年より特別会計が設置されていたが、平成19年4月1日より企業会計方式を導入し

ました。

市民環境常任委員会

工事請負契約の締結について

「可決」

防災行政無線統合工事に応札したメーカーが異なるにもかかわらず、6社中、5社が予定価格の7割で同価格となっています。

今回の入札は電子入札で実施され、システム上、予定価格の7割が最低制限価格として設定されています。業者側としても、この事業を行いたいことから最低制限価格を推測し、

応札したと思えます。最低制限価格については、契約担当と十分に協議をする必要があると考えています。



マイファーム！マイ食材！

平成19年度鴻巣市一般会計決算認定について 「認定」

市民農園の利用状況は、7月1日現在、30平方メートルの区画が215区画のうち188区画、50平方メートルの区画が40区画のうち32区画が利用されています。利用率は86・3パーセントとなっています。

花と音楽の館かわさとの指定管理料で、不用額が523万7965円生じているのは、協定のなかで光熱水費が見込んだ額と実費に差額が生じた場合、また、食の提供事業については売上の5パーセントを清算し、市へ返還することが取り決められているためです。光熱水費の差額が441万8706円で、食の清算金が81万8989円です。

し尿くみとり委託料で2489万6000円を計上し、1000万円円からの不用額が生じています。18年度決算でも900万円の不用額になっています。予算要求の際、鴻巣市内の下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽などの対象世帯を除いた世帯数を基礎に予算を計上しました。消防ポンプ車の入れ替えについては、平成22年度3台、24年度4台、25年度1台、26年度1台の入れ替えを予定しています。21・23年度は該当車両がありません。